会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（行谷自治会）
2　日時	平成 30 年 8 月 5 日（日）13：00～14：30
3　場所	行谷自治会館
4　出席者	（資源循環課）森岡担当主査、永井主任 （環境事業センター）関原主査、門倉副主査 （行谷自治会）参加人数：35 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●このような説明会に参加していない人へのアプローチはどのように考えているのか。 →このような説明会を行う場合、自治会をひとつのチャンネルとしているところであるが、ご指摘のとおり、自治会に加入されていない方への啓発等をどのように行っていくのかは課題である。今後、非自治会員、事業者等に向けてこのような説明会を設ける予定である。 ●有料化や戸別収集を検討する前に、分別の啓発をもっとしっかり行うべき。民間のリサイクル会社と協力して啓発を行うのはどうか。 →色々な媒体を用いて、啓発活動を引き続き行っていく。本日配布させていただいた、紙の分別チラシについても、民間と相談させていただき作成した。今後も民間の知識を活用して啓発を進めていく。 ●資源物の売却益は収入として市にはいるのか。 →資源物の売却益として市に入ってくる。年間１億２千万程の売却益があがっており、ごみ処理経費にあてている。 ●この近辺は不法投棄が多く、有料化が実現すると、さらに不法投棄が増えるのではないか。 →もし、有料化を実施することになれば、パトロールを強化する等の対策はとることにはなるかと思う。現在実施している対策と併せて検討していく。 ●今日の説明会は市が有料化に誘導しているように思える。 →あくまでも検討段階であり、実施するかしないかは決まっていない。ごみを減量する施策のひとつとして、有料化や戸別収集を検討しているところであり、来年度の方針決定に向けて、このような機会を設けさせていただいた。 以上